

フキ指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
6 年

10月2日（木）1校時

道徳 「ロレンゾの友達」

本時のねらい

警察に追われているというロレンゾの迎え方を巡る三人の考えの違いなどを通して、真の友情とはどのようなものかを考えさせ、互いに信頼し、高め合う真の友情を築こうとする判断力を育てる。

本時のこだわり

- ・ 全力参加
- ・ 話し合いによる共有化
- ・ 自分事として考える指導の工夫
- ・ 自分の立場を決めて話し合うことで、それぞれの意見を受け入れながら、本時のねらいに迫っていく。

展開

段階	学習活動	指導・支援（○） 評価（☆）
導入	1. 「仲良しの友達」とは、どういう関係かを聞く。 C：よく遊ぶ。笑顔になれる。大事にしたい。趣味が合う。	○一緒にいることが楽しいと感じる関係を望む結果を確かめさせ、本当にそれだけが友情かどうかを課題として提起する。
展開	2. 資料「ロレンゾの友達」の手紙を読み、話し合う。 T：ロレンゾ、アンドレ、サバイユ、ニコライの4人はどのような関係でしょう。 C：昔からの仲良し。かけがえのない友達。信頼し合える関係。	○始めに手紙のみを提示することで、4人の関係をつかめるようにする。 ○「友達」という意見が出た場合「どのような友達か」を問い返す。
	3. 資料「ロレンゾの友達」を読み、話し合う。 T：誰の考えに自分の考えが近いですか。 C：お金を持たせてあげるのは、するかもしれないけれど、かわいそうだから仕方ない。 C：本人が逃げているのだから、事情をきいて逃がしてあげるのが友達だと思う。 C：本人はいやかもしれないけれど、友達ならきちんと罪を償わせてあげるべきだと思う。	○刑事が町を訪ねたことを説明してから資料の提示を行う。 ○事情を知った3人の立場とその根拠を発表させ、自分の考えに近い1人を選択する。 （名札・ウィッチ型）
話し合いを通して、自分の考えをまとめよう		
まとめ	◎T：本当の友情とはどのようなことをさすのかを考えてみましょう。 C：相手がしてほしいことをしてあげたい。 C：相手のためになることを一生懸命に考えてあげたい。 C：相手が嫌だと思うことできちんと伝えてあげたい。	○本当の友情について発問し、友達に関しての考えが深められるようにする。 ○根拠を考えさせることで、ねらいに迫れるようにする。
	4. 振り返る。 T：もしロレンゾが本当に罪をおかして帰ってきていたとしたら、あなたは友人としてどうしていたかな？	○自分だったらどうするかと、自分事として考えさせる。 ☆真の友情を育もうとする際の、葛藤や悩みについてさまざまな角度から考えている。（ワークシート・発言）